

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	荒平 真衣	学校名	竜北西部小学校
実施学年	4年生	教科	国語
単元名	ごんぎつね		

《学びを深めたいポイント》

主体的・対話的で深い学びの視点から学びの状況を見ると、課題解決に向けて自分から取り組むなど主体的である一方で、自分の考えをもったり深めたりすることについてはあまりできていない。対話や交流の場面が取り入れることによって、自分の考えがどのように変容したのか実感できる学習が必要である。

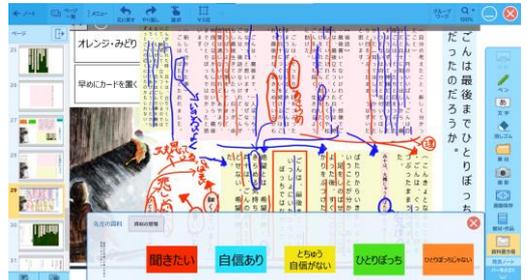
また今回の学習では、「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することが指導目標になっているので、様々な視点から、叙述を手掛かりにして、他の場面と比較したり、登場人物の気持ちを考えたりして読みを深めていけるようにしていきたい。

《SKYMENU 活用のポイント》

○スカイメニューの「みんなの作品」や「画面一覧」を活用し、意思表示カードを用いて、自分の意見と似ている人や違う人を見つけ、他者参照することで意見交流が行えるようにする。

○ワークシートをスカイメニューで作成・配布し、それを用いて考えを表現していき、自分の考えを蓄積できるようにしていく。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>1 本時での学習課題を確認する。</p> <p>○自分の気持ちが明らかになるカードを提示する。</p> <p>○ごんの気持ちが読み取れる場所を全体で確認する。</p>	<p>○発表ノートでワークシートを配り、それに意思表示カードや自分の考えを表すことができるカードを置く。</p> 	<p>○画面一覧で提示し、全員の意見を見て、なぜそう考えたのか興味関心を高められるようにする。</p>

<p>展開</p>	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 根拠となる言葉から自分の考えをもつ。</p> <p>② 他者との会話や自分の考えを発表する。</p> <p>③ 他者の発表から考えを追加したりまとめたりしていく。</p>	<p>○自分の考えをまとめるときに、「みんなの作品」を見て、自分の考えに付け加えていく。</p> <p>○「画面一覧」を見ながら、交流する相手を決めて聞きに行ったり、自分の「発表ノート」の意見に付け加える。</p>  <p>○全体で共有する際も自分のノートを投影しながら意見を発表する。</p>	<p>○「みんなの作品」や「画面一覧」で意思表示カードなどを見ながら、交流する相手を決めたり、自分の考えに付け加えたりできるようにする。</p>  <p>○発表の仕方でもノートを指さしたり、スライドショーを使い、ラインを引いたりなど相手に伝わりやすい手段を選ばせながら発表させる。</p> 
<p>まとめ</p>	<p>3 学習課題に対する答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p>		

《実践を振り返って》

- 自分の考えに自信をもつことで発表への意欲に繋がり、異なる考えや新たな視点を発見する時間となり、多様な考えに触れることができた。
- 全体で意見を共有する際に、交流した中でいい意見だったのを全体で紹介し発表に繋げていた。
- ▲視点をもって話し合いに参加しなければ、ただ自分の意見を言うだけの時間になり、自分の考えを深めたり、異なる意見を自分なりに解釈し直したりすることが難しい部分もあった。